読

７②

文と文をつなぐ言葉

　　年　　組

ゴール

* のことを書いている二つの文の間につなぎの言葉を入れると、文がつながり、わかりやす

ゴール　 つなぎの言葉に気をつけて正しく文をつなごう。

くなります。のように、「上の文」と「下の文」のあいだに、上下の文をくっつけるつなぎの

言葉を、うまく意味がつながるように書きましょう。

　前と後の二つの文が、べつのことを書いています。この文の間に言葉を入れると、文がつながり、わかりやすくなります。例にならって、当てはまる言葉を入れて、前後の文をつなぎましょう。

　前と後の二つの文が、べつのことを書いています。この文の間に言葉を入れると、文がつながり、わかりやすくなります。例にならって、当てはまる言葉を入れて、前後の文をつなぎましょう。

（） に勝って、うれしかった。（だけど）、二回で負けてだった。

　　　 先生はとてもしい。（しかし）、いじわるをすると、しくする。

　　　 わたしは、早起きが苦手です。（だから）、朝食を食べないことがあります。

①今日、は、朝からがありました。（　　　　　　）、は学校を休みました。

②、宿題がたくさんありました。（　　　　　　）、やり終えるのに、二時間かかりました。

③明日は、遠足で京都に行く予定です。（　　　　　　）、は雨なので心配です。

④は、テストがあります。（　　　　　　）、全勉強していません。

⑤ぼくは、が大きです。（　　　　　　）、がち遠しいです。

⑥わたしは、図書館に行きました。（　　　　　　）、しずかに本を読みました。

⑦に負けてしかった。（　　　　　　）、次の日から、練習した。

⑧先生はとてもしい。（　　　　　　）、よくがんばった時は、本気でほめてくれる。

（文と文をつなぐ言葉）

・「しかし」「けれども」「でも」は前の文とちがうことや反対のことをつなぐときにう。

・「そして」「それで」「だから」は、前の文のきやなどをつなぐときにう。

・文と文をつなぐことができた。　　　　　　　　　　　　　　（　　　　）

・文と文をつなぐ言葉の使い方がわかった。 　　　　　　 （　　　　）

ふりかえり

　読・７　つなぎの言葉に気を付け段落相互の関係に着目する。

読

７②

文と文をつなぐ言葉

　　解　　　答

ゴール

* のことを書いている二つの文の間につなぎの言葉を入れると、文がつながり、わかりやす

ゴール　 つなぎの言葉に気をつけて正しく文をつなごう。

くなります。のように、「上の文」と「下の文」のあいだに、上下の文をくっつけるつなぎの

言葉を、うまく意味がつながるように書きましょう。

　前と後の二つの文が、べつのことを書いています。この文の間に言葉を入れると、文がつながり、わかりやすくなります。例にならって、当てはまる言葉を入れて、前後の文をつなぎましょう。

　前と後の二つの文が、べつのことを書いています。この文の間に言葉を入れると、文がつながり、わかりやすくなります。例にならって、当てはまる言葉を入れて、前後の文をつなぎましょう。

（） に勝って、うれしかった。（だけど）、二回で負けてだった。

　　　 先生はとてもしい。（しかし）、いじわるをすると、しくする。

　　　 わたしは、早起きが苦手です。（だから）、朝食を食べないことがあります。

①今日、は、朝からがありました。（ それで ）、は学校を休みました。

②、宿題がたくさんありました。（ だから ）、やり終えるのに、二時間かかりました。

③明日は、遠足で京都に行く予定です。（ しかし ）、は雨なので心配です。

④は、テストがあります。（　でも ）、全勉強していません。

⑤ぼくは、が大きです。（ だから ）、がち遠しいです。

⑥わたしは、図書館に行きました。（ そして ）、しずかに本を読みました。

⑦に負けてしかった。（ だから ）、次の日から、練習した。

⑧先生はとてもしい。（ けれども ）、よくがんばった時は、本気でほめてくれる。

（文と文をつなぐ言葉）

・「しかし」「けれども」「でも」は前の文とちがうことや反対のことをつなぐときにう。

・「そして」「それで」「だから」は、前の文のきやなどをつなぐときにう。

・文と文をつなぐことができた。　　　　　　　　　　　　　　（　　　　）

・文と文をつなぐ言葉の使い方がわかった。 　　　　　　 （　　　　）

ふりかえり

　読・７　つなぎの言葉に気を付け段落相互の関係に着目する。